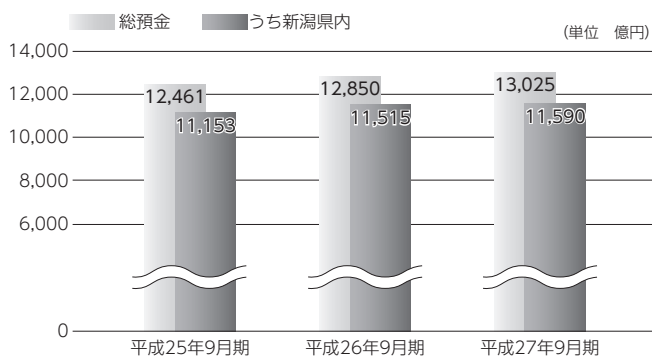


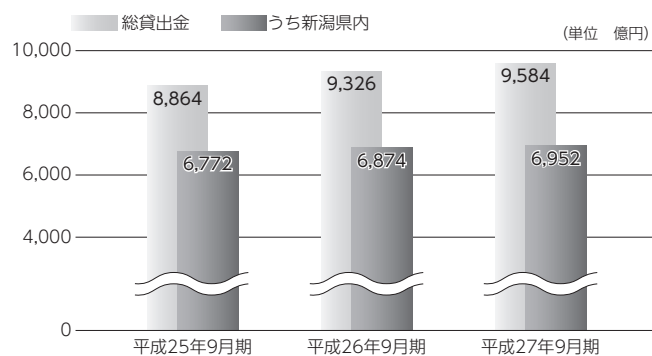
平成27年度中間決算ダイジェスト (単体)

■ 預金



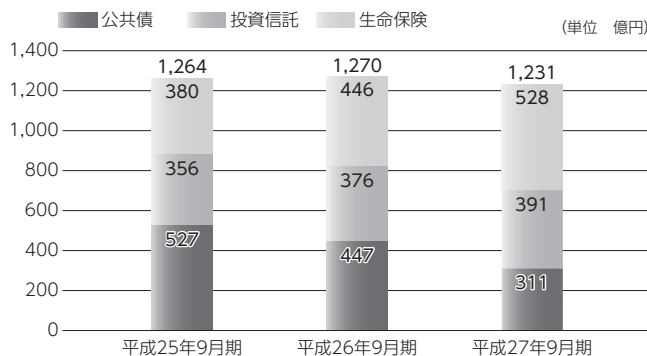
預金残高(含む譲渡性預金)は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比175億円増加の1兆3,025億円となりました。新潟県内預金残高は1兆1,590億円、県内預金比率は89%です。

■ 貸出金



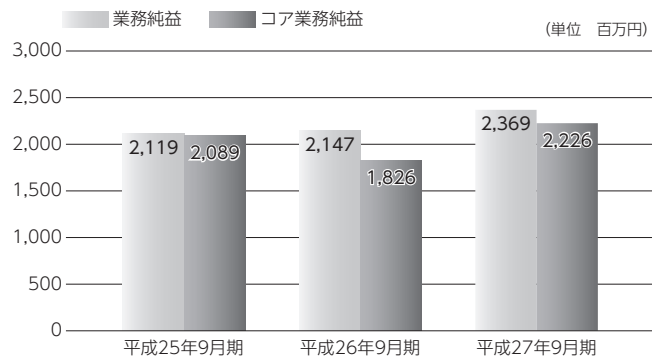
貸出金残高は、中小企業向け貸出を中心に事業者向け貸出が増加したほか、個人向け貸出、地公体向け貸出のいずれも増加し、前年同期比258億円増加の9,584億円となりました。新潟県内貸出金残高は6,952億円、県内貸出金比率は73%です。

■ 預り資産



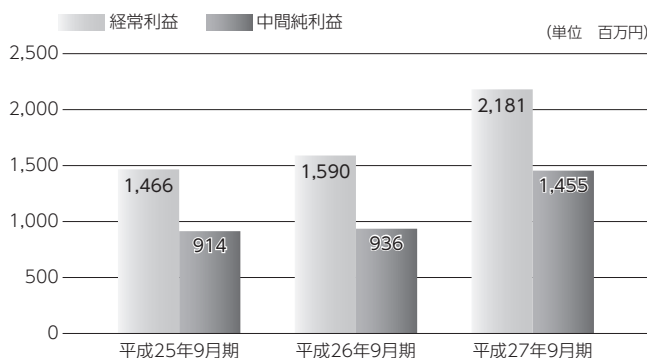
預り資産残高は、投資信託、生命保険が増加したものの、個人向け国債の償還により公共債が減少し、前年同期比39億円減少の1,231億円となりました。

■ 業務純益・コア業務純益



業務純益は、資金利益や役員取引等利益は減少しましたが、経費の減少や金融派生商品損益の改善などにより、前年同期比2億22百万円増益の23億69百万円となりました。コア業務純益は、前年同期比4億円増加し、22億26百万円となりました。

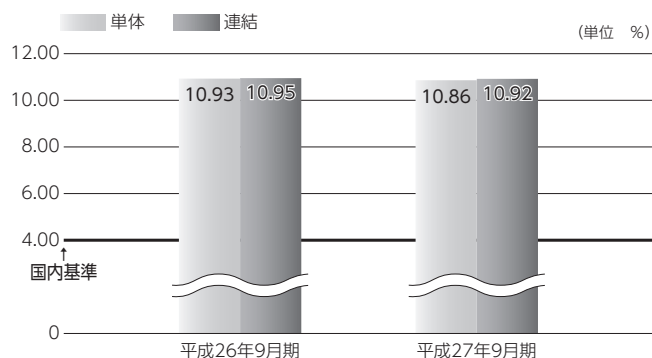
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、有価証券関係損益は減少しましたが、コア業務純益の増加に加え、実質与信関係費用が減少したことなどにより、前年同期比5億91百万円増益の21億81百万円となりました。

中間純利益は、経常利益の増加を受け、前年同期比5億19百万円増益の14億55百万円となりました。

■ 自己資本比率



自己資本比率は、単体が10.86%、連結が10.92%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。